

みんなで取り組む防災・減災

しろちゃんの防災知恵袋 29

▼防災倉庫

田原市には、水防倉庫や防災備蓄倉庫というものがああります。どこにあつて何が入つてゐるのか、皆さんは知つてゐますか？今回は、防災倉庫について紹介します。

◆水防倉庫…台風や大雨への備え

田原町、赤羽根町、江比間町、福江町、中山町にあつてゐます。杭や土のう袋、シャベル、のこぎりなどが入つてゐます。

◆校区防災備蓄倉庫…救助・救出、避難生活への備え

田原中部校区に2棟、それ以外の校区に1棟ずつ計21棟あります。毛布やテント、リヤカー、発電機などの避難生活に役立つものと、担架やハンマー、ボールなどの救助・救出に役立つ物が入つてゐます。

◆拠点防災備蓄倉庫「田原市報民倉」

田原町にあつてゐます。ビスケットやアルファ化米などの食糧や保存水、テント、毛布、簡易トイレなど



が入つてゐます。この倉庫は、江戸時代に田原藩が渡辺華山の指導により、災害に備えて民のため食糧を蓄えようと建設した倉「報民倉」にちなんで整備されたものです。



●田原市報民倉

これらの他に赤羽根市民センター、渥美支所、福祉センターなどの公共施設にも食糧や資機材を備蓄してゐます。

また、各地区の自主防災会で防災倉庫を整備してゐるところも多数あります。どこに何があるかを知つておけば、いざというときに役立つちます。一度確認してみましよう。

しかしながら、このような蓄えには限りがあります。まずは家庭での備蓄をしっかりと行い、災害に備えましよう。

▼防災対策課 ☎23 3548

キャベゾウ・かいくんの

渥美半島きらり☆ゆるさんぽ 15

▼渥美半島☆観光大使のふたりが、きらり☆と光る田原市の観光資源をご紹介します

今回は、渥美半島に縁のある歌人を紹介するきゃべ☆



★松尾芭蕉

松尾芭蕉は、1687年に保美の里に隠棲してゐた愛弟子である杜国を慰めるため、門弟越人を伴つて渥美半島を訪れてゐます。芭蕉園地には、伊良湖岬で鷹を詠んだ句の句碑があります。「鷹ひとつ 見つけてうれし 伊良湖岬」



●芭蕉の句碑

これは1793年、芭蕉来訪100周年を記念して、田原の俳人たちが建立したものです。

★坪井杜国

芭蕉の愛弟子である杜国は、名古屋の大きな米穀商でしたが、1685年に罪を犯し、家財没収の

うえ住居を追われます。畠村(福江町)に移り住み、程なく保美の里に隠棲し、1690年に34歳の若さで亡くなりました。

杜国の墓がある潮音寺には、芭蕉と越人と杜国の再会時に詠みあつた句の句碑が並んで建てられてゐます。「麦はえて よき隠家や 畠村」(芭蕉)「冬をさかりに 椿さくなり」(越人)「昼の空 蚤かむ犬の ねがえりて」(杜国)



●潮音寺にある句碑

句碑を見て、当時の芭蕉や杜国に思いをさせてみてはいかがきゃべ☆



◎キャベゾウとかいくんのホームページもよろしくきゃべ☆

☎1002176

▼商工観光課

☎23 3522 FAX 22 3817

